

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		17年度	
総合計画	大項目	02	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	02	健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	07	病院事業
事務事業名		01	備前病院運営事業
根拠法令・例規等		医療法 備前市国民健康保険病院条例	
問		担当課(室) 市立備前病院	
合		職・氏名 副参事 庶務係長 石原 高志	
先		電話 0869-64-3385	
このシート作成に要した時間		7.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	出資者である市民
目的(何のために)	市立備前病院基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と、計画的・効率的な病院経営の推進を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民が安心して医療を受けられる体制とすることが第一義であり、安定的な経営を行うことによって、市民ニーズに沿った病院を維持・存続させる。

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
病院経営(幹部会)	3病院の運営		
病院経営(各種委員会)	病院の機能評価・業務・医療改善		
労務管理	病院職員の労務・健康管理		
施設管理	病院施設の管理		
財務管理	病院運営の財務管理		
その他庶務	法令・条例に沿った病院運営の庶務		
右欄の評価の説明			
<妥当性評価> 入院機能や高度医療機器を備えた東備地区の中核病院として、安全で良質な医療を提供するためには必要不可欠な事業である。			
<効率性評価> バス路線による通院対象地域の縮小や市立他病院新築や外科医引上げの影響による患者減、など経営環境は厳しさを増している。一方で懸案であった病院改築事業がH21から実施となった。経営の建て直しを図り、地域住民のニーズに沿った病院となるよう、患者と医療の両サイドの目線に沿った機能性・効率性の確立を大前提として取り組む必要がある。			
<有効性評価> 地域の人々に信頼される病院として安定した医療の提供を行なうことを最大目的としている。そのため、施設の維持・整備を進めていくためには利益を確保する必要がある。			

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		24,032	20,010	24,914	
	必要人員(人件費)	千円	6.73人	53,678	4.89人	43,449
	事業費		77,710	63,459	84,325	
	国県支出金		284	284	794	
	受益者負担					
	財源	千円				
繰入金						
その他( )						
一般財源			77,426	63,175	83,531	
受益者負担比率	%					
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
幹部会議・運営会議・各種委員会		説明	会議出席者延数			
結果指標	結果指標量	事業	1,320	1,478	1,478	
	対前年比	%	100%	112.0%	100.0%	
	活動コスト		2,181	1,900	2,778	
	単位当たりコスト	円	1.65	1.29	1.88	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
決算における経常収支比率	目標値(A)	100	100	100	100
	実績値(B)	89.0	86.1	92.9	到達目標値
	達成率(B/A)	89.00%	86.10%	92.90%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
経常収益/経常費用×100 これまで「収益的収入-収益的支出」による純利益を指標にしていたが、「公立病院改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標(経常収支比率、職員給与費比率、病床利用率)の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすいの経常収支比率を選択した。(診療事業シートは選択)					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>A</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>B</b>
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> <b>C</b>	

進行年度(H22年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	事業全体の中で可能な部分について効果的な事業を実施する。備前市病院事業検討委員会において、地方独立行政法人化及び指定管理者制度導入について、また、経営統合やネットワーク化について検討する事としている。						

総合評価	
各委員会を定期的に開催し、業務改善・安全管理・院内感染対策など、安全・安心な医療提供について、改善している。入院患者数については、外科医等の引上げや風評による減少も歯止めがかり、若干であるが改善方向にある。懸案であった病院改築工事については、設計も完了し22年度着工、23年度中の開業を目指している。今後は新病院開業と同時にカルテの電子化導入により、患者の待ち時間解消や3病院の連携をより一層充実させる。	評価区分 <A-E> <b>B</b>

平成23年度の方向性及び取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	新病院開業により、当初は外来・入院患者共に増加するものと思われる。心機一転患者ニーズに沿ったサービスの提供を実施すると共に、電子化による3病院の連携の充実や経営の統合、経費削減に努め健全経営を目指す。						

事業の目的、対象内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項  
事業の目的やその数値目標を達成するための下書き指標